



鈴木舞&福原彰美

CD発売記念コンサート

どこまでも自由に、どこまでも広がる
音楽の翼を持つデュオ、待望のCDリリース!
19世紀フランス音楽の美と情熱が、今ここに。



Shibuya Mitake Salon (vol.178)

どこまでも自由に、どこまでも広がる

—

—



2025年6月14日(土) 開場 14:30/開演 15:00 入場料:会員4,500円(座席指定可) /一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)

鈴木 舞 (SUZUKI Mai) Violin

東京藝術大学附属高校、同大学卒業。スイス、オーストリア、ドイツにて研鑽を積み、ディプロマ、ドイツ国家演奏家資格を取得。

ヴァーツラフ・フルム国際ヴァイオリンコンクール(クロアチア)第1位、オルフェウス室内楽コンクール(スイス)第1位他、多くの国際コンクールで優勝、入賞を重ね、ソリストとして欧洲、アジア、南米等でツアーを行う等、世界各地でリサイタルやオーケストラに招かれる。

国内では、宮内庁主催皇居桃華楽堂での御前演奏会に出演、シャネル・ピグマリオン・ディズ・アーティストに選出された他、サントーロール、王子ホール等の主要なホールで公演を重ねている。

これまでに、ヨルマ・パスラ、イヴァン・レブシッチ、ニコラス・ミルトン等の指揮で、スイス・ローザンヌ室内管、フィンランド・クオピオ響、ドイツ・ホーフ響、チェコ・モラヴィアフィル、読売日響、東響、日本フィル等と協奏曲を共演している。

キングレコードよりデビューCD「Mai favorite」がリリース。日経ミュージックセレクションCDでは東響とベートーヴェン、マスネを収録した。2025年3月にセカンドCD「翼」をリリース。

使用楽器は株式会社atsumariを通じて貸与されている1682年製 Nicolo Amati "Grand Amati"

ご予約フォーム



●ご予約・お問い合わせ 株式会社 ILA (渋谷美竹サロン) 03-6452-6711(平日 10:00-18:00)、070-2168-8484(時間外可) Webサイト: <https://x.gd/5pjPr>

福原 彰美 (FUKUHARA Akimi) Piano

14歳で浜離宮朝日ホールにてソロリサイタルを開催し、ライブ録音を学研プラスよりCD発売。15歳で単身渡米し、サンフランシスコ音楽院、ジュリアード音楽院で研鑽を積む。国内外の著名アーティストから信頼が厚く、クリスティース・ワーフスカ(チェロ)、ナサニエル・ローゼン(チェロ)、ピエール・アモイヤル(ヴァイオリン)各氏と共に演奏を重ねる。

2017年にAcoustic Reviveよりリリースしたソロアルバム「ブームス: ピアノ小品集」がレコード芸術誌で準特選盤、オーディオクセサリー誌で特選盤に選出。東京交響楽団(指揮:秋山和慶)、パシフィックフィルハーモニー東京(指揮:山下康介)と共に、サンフランシスコ交響楽団室内楽シリーズ、メトロポリス・アンサンブル公演等で演奏。

ニューヨーク・タイムズ、サンフランシスコ・クロニクル、日経新聞等で度々取り上げられ好評を博す。ブームス研究に注力し、2020年に音楽書「ブームスを演奏する」(クライヴ・ブラウン、ニール・ペレス・ダ・コスタ、ケイト・ペネット・ウォズワース著)を翻訳。19世紀のピアノ演奏習慣や楽曲解釈に関する深い洞察を培う。2025年にAcoustic Reviveよりブームス・ソロアルバム第2弾をリリース予定。

<CD情報>『レ・ゼール～翼～』
ヴァイオリニスト鈴木 舞とピアニスト福原彰美が満を持して録音!
フランクとルクーの傑作ヴァイオリン・ソナタ2曲を、新結成デュオ
「Les Ailes(レ・ゼール)」の記念として、長年磨き上げた渾身の演奏で届ける!

【収録情報】

●フランク:ヴァイオリンとピアノのためのソナタ I長調 ●ルクー:ヴァイオリンとピアノのためのソナタ II長調

●シャミナード:カプリッチョ Op.18 ●シャミナード:スペイン風セレナード Op.150

鈴木 舞(ヴァイオリン) 福原 彰美(ピアノ)

レ・ゼール
習翼

Program

フランク:ヴァイオリンとピアノのためのソナタ I長調
ルクー:ヴァイオリンとピアノのためのソナタ II長調
シャミナード:スペインのセレナーデ Op.150
カプリッチョ Op.18
他



オンラインストア



鈴木舞&福原彰美 CD発売記念コンサート

2025年6月14日(土)

開場 14:30/開演 15:00 入場料:会員4500円(座席指定可)/一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)

1/23
Shibuya Mitake Salon (vol.178)

どこまでも自由に、どこまでも広がる——
音楽の翼を持つデュオ、待望のCDリリース!
19世紀フランス音楽の美と情熱が、今ここに。

音楽とは何か。

おそらく、それは単なる技術や名声といったものではない。

ましてや、技巧の誇示や、目に見える華々しさでもない。

そうしたものを超えて、演奏の一音一音の中に、どれほどの思索と情熱が込められているか

——そここそ、音楽の本質が宿るのではないか。

鈴木舞のヴァイオリンと福原彰美のピアノには、それがある。

今まさに本格的な活動を開始しようとしている「レ・ゼール(翼)」。

このデュオの音楽を言葉で説明するのは難しい。

しかし、その響きはどこまでも自由であり、どこまでも広がってゆく。

まるで“音楽の翼”が、聴く者を未知の空へと運ぶかのようだ。福原彰美は美竹サロンに初登場となる。

14歳でデビューCDを発表し、15歳で単身渡米。

サンフランシスコ音楽院、ジュリアード音楽院で研鑽を積み、すでに20年近いキャリアを持つ。

だが、彼女の道は、いわゆる「コンクール入賞」という形での成功ではなく、実演を通じてその実力を証明してきた稀有なピアニストである。

クリスティース・ワレフスカ、ナサニエル・ローゼン、ピエール・アモイヤル—— 錚々たる演奏家たちが彼女のピアノを信頼し、共に音楽を作り上げてきた。

音楽において、巨匠が共演者として指名することほど、確かな評価はない。

そして、そのアモイヤルの愛弟子が鈴木舞である。

現場で磨かれた者にしか持ちえない確信——それが、福原のピアノにある。

派手な超絶技巧よりも、音楽の本質を。

華やかさよりも、深みを。

彼女の演奏は、まさにその価値を体現している。今回のプログラムは、激情と抒情、重厚さと軽やかさが交錯し、CDに収録されたフランス音楽の多面性を存分に堪能できる、洗練された内容となっている。

フランクの《ヴァイオリン・ソナタ》は、深い情熱と対位法的な構成が融合したロマン派の傑作。

循環形式によるドラマティックな展開が、演奏者と聴衆を圧倒する。

私たちは鈴木舞のヴァイオリンによって、この作品に“開眼”したと言っても過言ではない。

ヴァイオリニストなら誰もが演奏し、聴衆にとても馴染みのある名曲だが、ここまで説得力と情感に満ちた演奏には、なかなか出会えない。

彼女のフランス音楽に対する鋭敏な美意識とセンスが、この楽曲の持つ深さを際立たせる。

まさに、彼女の十八番と言ってよいだろう。

続くルクーはフランクの弟子であり、この《ソナタ》は、フランクの影響を受けつつも、より優しく、透明感あふれる旋律が特徴。抒情性と陰影に満ちた音楽が、心に静かに響く。

師弟関係を軸に、フランス音楽の継承と変遷を感じさせる流れが自然に生まれる。

重厚な2曲の後、シャミナードの《カプリッショ》と《スペイン風セレナード》がプログラムを軽やかに彩る。

エレガントな技巧とフランスならではの遊び心が、ソナタとは異なる光彩を放つ。

鈴木の研ぎ澄ました感性と豊かな表現力、福原の知的かつ情熱的なアプローチが融合すれば、それは、ただの技巧のぶつかり合いではなく、本当の意味で音楽が響き合い、語り合う瞬間になるだろう。

それはまるで、一つの物語を紡いでいくようであり、その瞬間に立ち会うことができるには、まさに幸運なことだ。

“音楽の翼”を持つこのデュオは、どこへ向かうのか——。

その旅路に、私たちも耳を傾け、“翼”を持つ音楽家たちの“風”となれるよう、聴き手である私たちも共に感じ、見届けたい。

(渋谷美竹サロン)



世界に通用する才能溢れる
トップアーティストが
続々と集結!

大ホールのプラチナ席をしのぐ
生演奏の醍醐味、
一期一会で味わう圧倒的な臨在感。

日本のトップクラスの演奏家たちが、

こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。

渋谷美竹サロン(美竹清花さん)が追求する

“本物の音楽”は、演奏者と参加者とわたしたちの、
三位一体の努力と対話から生まれます。



Shibuya
Mitake
Salon

誕生。宮益坂、渋谷駅徒歩2分
クラシック音楽サロン、

大好評につき
サロンメンバーズ
追加募集中!



お問い合わせ

株式会社 ILA 渋谷美竹サロン (美竹清花さん)

東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)

03-6452-6711 (平日 10:00-18:00)

070-2168-8484 (時間外)

Fax 03(3409) 0188



公式Webサイト